※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　芸術科(美術)

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅲでは、テーマ設定・表現形式の選択・制作の計画立案を自分で行い、課題に取り組みます。
・美術Ⅰ・Ⅱで学んだことを生かしながら自分なりの表現を追及し、卒業制作に取り組みます。
　また、作家の表現技法を研究し、その表現を制作に活かしましょう。
・制作の中間報告・完成作品の鑑賞を行う時間を設定し、感想や意見を出し合い、自分の表現を
　高められるようにします。また、作品のコンセプトや工夫点などを発表する機会をつくることで、
　プレゼンテーション能力を高めます。

2　学習の到達目標

(１)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる。
(２)図形的なよさや美しさ、独創的な費用減の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
(３)美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション	【鑑賞】 ・昨年度の振り返り、教科書等の鑑賞を通して「美術Ⅲ」の学習イメージをもつ。	c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。			制作の様子 ワークシート
	静物画	【絵画】【鑑賞】 ・果物や野菜、容器など複数のモチーフをデッサンする。 ・油画の特徴や、工程、技法を学ぶ。 ・油絵の具で着彩する。 ・鑑賞 ・振り返りシートの記入	a: 対象を見つめ、形態の特徴をつかみ、描けている。 油絵の具の表現や道具の使い方を理解して制作に取り組んでいる。 b:画面にバランスよく対象が入るよう、モチーフの配置、構成を工夫している。 油絵の具の特性を活かし、表現方法を工夫して彩色できている。 c: モチーフを自分で配置し、対象をよく見て描こうとしている。 作品の主題や作者の意図を感じ取り、作品についてのよさや美しさを理解している。	制作の様子 作品	制作の様子 作品	制作の様子 鑑賞の様子 鑑賞シート 振り返りシート
2	卒業制作	【絵画】【鑑賞】 A. 絵画(油絵またはアクリル画F50号以上のもの) B. デザイン(B全版) ・AまたはBで自分が表現したいものを選択し、テーマも自ら決めて、制作に取り組む。 ・発想から完成までの計画表を作成し、中間発表を行いながら制作を進める。 ・完成したら、自分の作品についてまとめる。 ・プレゼンテーション	a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して主題を追及している。 b: 自ら主題を決める。テーマを基に感性や想像力を働かせて主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体・構図・色彩・技法を工夫して構想を練っている。 c: 自ら生成した主題を表現することに興味を持ち、計画を立て、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 中間発表で、他者の効果的な表現や工夫点を理解し、自分の作品に生かそうとしている。プレゼンテーションでは、制作意図を他者に伝えようとし、他社のそれを理解しようとしている。	制作の様子 作品 ワークシート	制作の様子 作品 アイデアスケッチ	計画書 発表の様子 制作の様子 作品 ワークシート プレゼンの様子 鑑賞シート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	干支の張子制作	【彫刻】【鑑賞】 ・張子の技法などについて学ぶ。 ・来年の干支をテーマに、油粘土で形をつくる。 ・和紙を張り重ねる。 ・粘土を取り出し、胡粉を塗り重ねる。 ・絵の具で着彩する。 ・台紙をつくる。 ・まとめの作成 ・鑑賞	a:張子の作り方や用具の扱い方を理解している。また油土や和紙の特性を理解して美しく立体表現ができている。 b: テーマや素材、表現形式の特性を生かし、想像力を働かせて構想を練り、工夫して表現できている。 c: 表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 作者の意図を感じ取り、作品についてのよさや美しさを理解している。	ワークシート 制作の様子 作品	アイデアスケッチ 制作の様子 作品	ワークシート 制作の様子 鑑賞の様子 鑑賞シート 振り返りシート
3	多色刷木版画	【絵画】【鑑賞】 ・版画の技法について有名な作家の作品とともに学ぶ。 ・テーマを決め、はがきサイズの紙に下絵を描く。 ・使用する色を 3 色決め、下絵を塗り分ける。 ・色ごとに木版で版をつくる。 ・和紙に擦り重ねていく。 ・水張りする。 ・まとめの作成 ・鑑賞	a: 凸版、凹版、孔版、平版の技法や特性を理解している。多色刷木版画の制作工程を理解し、制作を進めることができる。 彫刻刀やバレンなどの道具を正しく適切に使用することができる。 b: 感性や想像力を働かせて主題を生成し、構図、色彩などを工夫して構想を練っている。 c: 木版画で表現することに関心を持ち、表現形式の特性を生かして主体的に表現しようとしている。 作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 作品	アイデアスケッチ 制作の様子 作品	ワークシート 制作の様子 鑑賞の様子 鑑賞シート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度